

令和 2 年度 事業報告

I 概況

本県農業の担い手の確保育成・支援を目的として、就農希望者や青年農業者等に対する助成事業、就農・就業相談活動に取り組みました。

財政及び運営については、国債等の運用益により一定の収益を維持していますが、増益は見込めない状況にあります。そのような中で、各種ニーズに応えるため可能な限り事業の維持に取り組みました。しかしながら赤字決算が継続していることから、公益法人として収支相償の原則に則った一層慎重な運営が必要となっています。

助成事業については、独立就農を目指す研修生や親元就農者等の支援を中心とした事業構成とし、一定の評価を頂くことができました。自主事業である就農・就業相談活動については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じた上で、9月に「長野県市町村・JA 合同就農相談会」、8月と1月に「長野県農業法人等就業フェア」を開催しました。また、ウェブでの相談会を定期的で開催し、往来自粛下における相談者のニーズに応じてまいりました。さらに、農林水産省の「農業労働力確保緊急支援事業」における県の相談窓口業務を受託し、当事業の周知や代行申請等に携わりました。

令和2年度に実施した事業は以下のとおりです。

II 事業内容

1 助成事業

(1) 就農相談会参加費助成

当基金の構成団体で、県外で開催される就農相談会の参加経費として、14団体・17件に対し250千円を助成した。「長野県市町村・JA 合同就農相談会」についてはオンライン出展となったため、助成額を1件10千円として実施した。

(2) 団体研修独立費助成

市町村もしくはJA等が研修・指導に必要な機械等を自ら取得し、研修終了後それらを必要とする研修生に譲渡する経費として、4団体の13人に対し3,821千円を助成した。

(3) 先進的経営体等における研修費助成

新規就農里親研修及び市町村、市町村公社、JA、JA出資法人が実施する研修の研修生7人に対し2,880千円を助成した。

(4) 親元就農者支援助成

親の農業経営を引き継ぐために就農した者22人に対し6,600千円を助成した。

(5) 農業青年の組織活動に対する助成

農業青年組織の自主的な学習活動を助長するため、市町村単位の農業青年クラブ18組織に対して1,080千円を助成した。また県的な組織団体であるJA長野県青年部協議会、長野県農業士協会及びPALネットながの3団体に対して2,700千円を助成した。

(6) 農業高校生の研究活動助成

農業関係学科設置の高等学校生徒が行う農業経営や生産技術に関する研究活動に要する経費として、10高等学校の農業クラブに対して947千円を助成した。

2 自主事業

(1) 魅力ある農業・農村の広報活動

農業の活力ある姿や農村の魅力を広くPRするため、当基金ホームページ等で就農支援制度、相談会、農業求人情報等を掲載するとともに、相談者に対し「農活 in 信州」等の資料を配布した。

(2) 新規就農相談活動

長野県新規就農相談センター（長野県農業担い手育成基金・長野県農業会議・長野県農業開発公社）として、就農や農業での就業を希望する青年等に対し相談活動を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で往来自粛、3密回避の活動となり、県外の就農相談会は中止またはオンライン参加となった。「長野県市町村・JA合同就農相談会」は本年度より企画・運営業務を人材・広告会社に委託し、9月に東京を会場として開催したが、出展者はすべてオンライン参加となった。24の市町村・JA・団体が出展し50人・組の来場者があった。また県と連携し「信州就農ウェブ相談会」を17回開催し、相談の機会を確保した。年間の相談者数は334人・組で、イベント来場者の減少により前年度をやや下回った。一方で電話やメール等での相談が増加した。

(3) 無料職業紹介事業

無料職業紹介事業を通じて、求職者に対して農業法人・農家への就業の紹介・斡旋を行った。長野県新規就農相談センター主催の「長野県農業法人等就業フェア」は、例年1月に開催する長野市に加え、8月に安曇野市においても開催した。合計で延べ33農業法人等が出展し、66人・組の来場者があったが、夏期開催については来場者が少なく課題が残った。

3 就農支援資金貸付事業

青年就農促進法が廃止されたことに伴い、資金の貸付は廃止となったが、既貸付金の回収保全に努めた。

4 その他の活動

- (1) 全国新規就農相談センターやJA長野県農業労働力支援センター等と連携し、情報交換や情報発信を積極的に行った。
- (2) 主な助成事業利用者や無料職業紹介事業での就業者の現状把握を行い、新規就農者の育成に結びついていることを確認した。
- (3) 「農業労働力確保緊急支援事業」において、臨時職員1名を雇用し、説明会2回、25経営体・延べ133件の代行申請、延べ264件の相談対応を行った（2月末実績）。

III 会議等の開催状況

会議名		議題及び内容
総 会	定時総会 (2.6.30)	①令和元年度事業報告及び貸借対照表・正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書の承認について ②役員補選について ③令和2年度収支予算書について
	臨時総会 (2.8.18)	①役員補選について
	臨時総会 (3.3.26)	①令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について ②令和2年度事業報告概要及び収支決算見込について ③会員数の変更について
理 事 会	第1回 (2.6.10)	①令和2年度定時総会の開催について ②令和元年度事業報告及び貸借対照表・正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書の承認について ③役員及び運営委員の補選について ④令和2年度収支予算書について

(続き) 理 事 会	第 2 回 (2.7.28) (書面議決)	①令和 2 年度臨時総会の開催について ②役員 の 補選について
	第 3 回 (2.8.18)	①理事長の選定について
	第 4 回 (3.2.25)	①令和 2 年度臨時総会の開催について ②令和 3 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について ③基金諸規定の改正について ④令和 2 年度事業報告概要及び収支決算見込について ⑤会員数の変更について
	第 1 回 (2.5.14)	①令和元年度事業報告及び貸借対照表・正味財産増減計算書 並びにこれらの附属明細書の承認について ②役員 の 補選について ③令和 2 年度収支予算書について
運 営 委 員 会	第 2 回 (2.7.14)	①役員 の 補選について
	第 3 回 (2.10.2) (書面議決)	①本年度の「就農相談会参加費助成」について
	第 4 回 (3.2.17)	①基金諸規定の改正 (案) について ②令和 3 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について ③令和 2 年度事業報告概要及び収支決算見込について ④会員数の変更について
	第 1 回 (2.5.14)	①令和元年度事業報告及び貸借対照表・正味財産増減計算書 並びにこれらの附属明細書の承認について ②役員 の 補選について ③担い手育成基金助成金の審査について ④令和 2 年度収支予算書について
事 務 局 会 議	第 2 回 (2.7.14)	①役員 の 補選について
	第 3 回 (2.8.28)	①担い手育成基金助成金の審査について ②「就農相談会参加費助成」について
	第 4 回 (3.2.17)	①基金諸規定の改正 (案) について ②令和 3 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について ③担い手育成基金助成金の審査について ④令和 2 年度事業報告概要及び収支決算見込について ⑤会員数の変更について
	第 1 回 (2.5.14)	①令和元年度事業報告及び貸借対照表・正味財産増減計算書 並びにこれらの附属明細書の承認について ②役員 の 補選について ③担い手育成基金助成金の審査について ④令和 2 年度収支予算書について
監 査	監事監査 (3.4.23)	会計処理規程第 30 条に定める監査

IV 内部監査

基金会計について、農業担い手育成基金内部監査規程に基づく内部監査を令和 3 年 4 月 21 日に受けました。